

【研究概要】

周術期口腔管理患者を対象として、唾液中の細菌量を評価する。主要評価項目は、細菌量とする。また、副次的評価項目は合併症の有無とする。定期健診の有無により患者を2群に分け、定期健診の患者にも細菌量の変化が見られるのか、すべての全身麻酔患者に周術期口腔管理の意義があるのかを検討したい。